

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： ナノ空間反応性イオン輸送制御システムの創出
2. 研究代表者： 馬淵 拓哉（東北大学 流体科学研究所 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題では、人工イオンチャネルと人工相分離構造体、及び、それらを融合することでイオン選択性とイオン濃度の制御を可能とした「細胞内人工イオン輸送制御システム」を創出することに取り組んでいる。フェーズ1では、実験系の研究者と積極的に共同研究をおこない計算結果を実証しながら進めている。また、計算によるイオン輸送や相分離のメカニズムの理解と制御について、条件を変えて検討を深めており評価できる。関連業績も多く、自主的に創発のコミュニティを活性化していることも高く評価できる。フェーズ2では、人工イオン輸送制御システムの開発に向け、挑戦的な研究が計画されているが、最終的な出口や、どのように応用していこうとするのかをより明確にすることに期待する。

以上